



わが地域の在宅医療介護連携の取り組み
～統合ケアの構築を目指したQ&Aの完成とネットワークづくり～



社会福祉法人 鳳会
特別養護老人ホーム ふじトピア
藤枝市地域包括支援センターふじトピア
内村 宣子 福原 隆行
山田 隆仁 縣 真美恵

施設紹介 社会福祉法人 鳳会
「おもてなしの気持ち」で心のこもった温かいサービスの提供



特別養護老人ホーム (70床) 短期入所生活介護(20床)
通所介護(一般30 認知12) 居宅介護支援 訪問介護
認知症対応型共同生活介護(18床) 地域包括支援センター



ふじトピアの担当地域です!
2025年問題の姿が、今ここにあります。



藤枝第2地区 + 西益津地区

高齢者7,128人 高齢化率31.7%
平成29年3月現在

地域包括ケアの実現に向けて・・・統合ケアの構築を図る!



【課題】
①標準的な連携ツール『Q&A』の完成
②顔の見える関係づくり

対象：地域住民・医療介護専門職
期間：平成26年4月～平成29年6月

統合ケア

統合ケアとは、「診断、治療、ケア、リハビリテーション、健康増進にかかわるサービスの構造化とマネジメント、提供及び情報交換を一つにまとめる概念」
統合は、「サービスへのアクセス、サービスの質、利用者の満足度、サービスの効率を改善する方法」

地域を基盤とするケア

住み慣れた「地域社会」という枠組みの中で行われるケア。医療機関間や医療・介護間の機能分担を明確化し、住民主体(自助・互助)を保障しながら効率的にサービスを提供する。

地域住民に対する4つの取り組み

- ①地域住民と地域の在宅医療介護専門職による医療介護に関する課題のための会議の開催
- ②地域版『Q&A』の完成・配布
- ③地域版『Q&A』の活用啓発
- ④住民と医療介護専門職とのワークショップ・交流会の開催



地域に向けて・・・地域版『Q&A』の完成をめざして

介護サービス 薬剤師 自治会連合会
看護師 民生委員 医師 地区社協



社会資源リスト
2016年度版

H26年度から取り組んでいた在宅療養の家族の声や会議での住民の声を集め、Q&Aを完成させていきました

② 完成

地域のみなさまと介護に関するQ&A



地域版Q&A

住民に向けて・・・地区交流センターまつりでの啓発！！



地域に向けて・・・講演会・交流会の開催！！

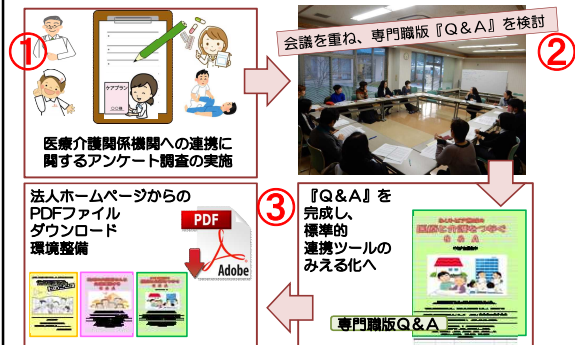


医療介護専門職に対する7つの取り組み

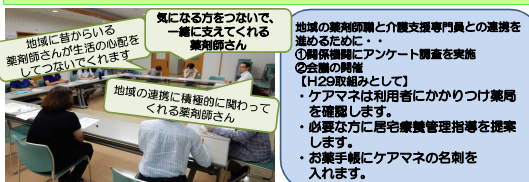
- ①医療介護関係機関への連携に関するアンケート調査の実施
- ②連携の取り方と解決方法を検討する会議の開催
- ③『Q&A』の完成とPDFファイルのダウンロード整備
- ④医療介護専門職間のネットワーク会議の開催
- ⑤専門職版『Q&A』のモニタリングアンケートの実施
- ⑥評価会議の実施
- ⑦地域ネットワーク会議(顔の見える関係づくり会議)の開催



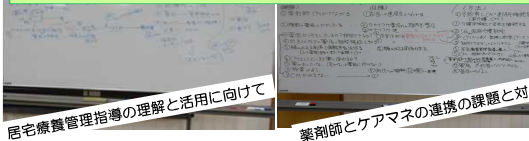
専門職に向けて・・・専門職版『Q&A』の完成へ



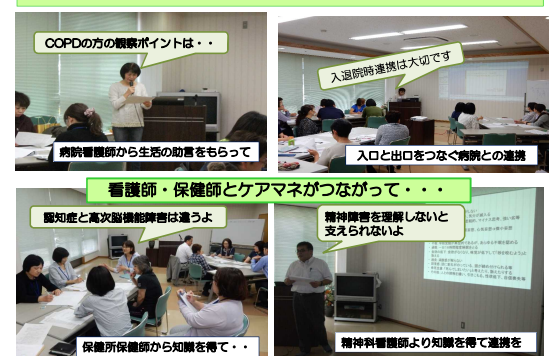
④在宅医療介護の連携でチームアプローチを



地域の薬局とケアマネがつながって・・・



④在宅医療介護の連携でチームアプローチを



在宅医療介護の連携でチームアプローチを



地域で活躍しているリハビリ専門職との顔の見える関係づくりをしました。また、ケアプランに対する助言を頂き、活動や社会参加の視点を学びました。家屋調査や担当者会議への参加についても意見交換しました。

リハビリ専門職とケアマネがつながって・・・



⑤ 専門職に向けて・・・専門職版『Q&A』アンケート結果⇒評価会議へ



⑥ 専門職に向けて・・評価会議からさらなる連携に向けて



より使いやすい『Q&A』や
連携の改善に向けて検討



- ・現状に即したQ&Aの改訂
- ・医療機関・介護サービス事業所を中心とした活用啓発
- ・標準的連携ツールとしての共有化

- ・PDFファイルダウンロード環境整備
- ・評価アンケートの実施と会議の開催
- ・医療機関への定期訪問をおとした地域包括支援センターの周知
- ・課題解決のための会議の開催

【目標2】連携について

- ・医療・介護の課題の共有化
- ・医療介護の顔の見える関係づくりの構築

【方法2】

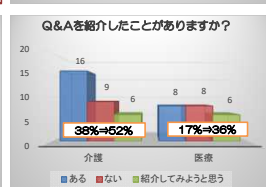
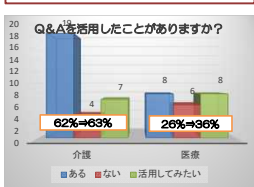
- ・ケアマネのかかりつけ医・かかりつけ薬局へのケアプラン提出
- ・顔の見える関係づくりを目的とした意見交換の

アンケート結果をH29年度評価会議につなげて・・・

評価会議が6ヶ月が経過しました

少しずつですが、「活用している」「紹介したことがある」が増え始めています。

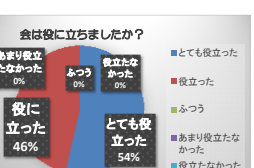
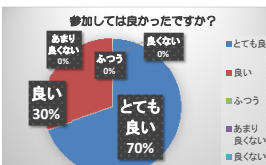
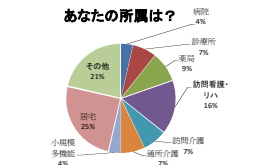
「活用してみたい」「紹介してみようと思う」が実際の行動に結びつくよう実践の場での取り組みが必要。



⑦ 在宅医療介護の連携で顔の見える関係づくりを



顔の見える関係づくりは効果的であったか？



在宅医療連携をすすめるために・今後の課題とは？

①本人・家族の声を反映した地域版『Q&A』の改訂 	②社会資源リスト・Q&Aの活用啓発 
③地域・医療・介護の顔の見える関係の充実 	④チームケアを通じた個別支援の実践力の向上 

在宅医療連携を進め、一人ひとりの望む生活の実現に向けて

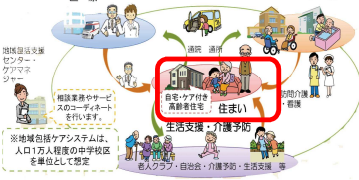


地域を大切に・一緒に考えて



専門職同士が連携を深めて

ワークショップは大切です



ケアマネジメントの実践力を高めて

※地域包括ケアシステムは、人口7万人程度の中学校区を単位として認定

ご清聴ありがとうございました



イラスト：ふたば
2020年・ふたば
プロジェクト

ふたば